

知恩 第十八号

恩光無辺の碑



平成27年9月27日 撮影

碑の裏面に殉難諸士の姓名が刻まれている



祇園寺 山門

追悼の辞

本日、ここに、水戸藩「諸生派国事殉難士」慰靈法要挙行に当たり、ご来賓の皆様ご臨席のもと、子孫代表者一同、碑前に集い、殉難諸士のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

幕末維新の激動期に、国の行く末を憂い、一途に尊皇敬幕・報恩士道の信念のもとに、国事に奔走

悲しみ、慷慨發憤、死を水戸、会津、越後等の地に致す者凡そ三百

人、今年十七回忌に當り、親戚故舊相謀り碑を水戸城西常磐村神應寺に建て、余をして之を銘せしむ。

水戸市内、神應寺にのこされた

「慷慨淋漓の碑・拓本」が水戸市指定文化財に指定されたことあります。前会津藩主・松平容保公は、「戊辰戦争」のご体験とそのご心境から、殉難諸士を心から哀悼し、その武士道を讃えられ、碑文にのこされています。その詩文の一部を拝読申し上げ、諸士の御靈に捧げます。

私は、幕末騒乱に際し、不幸にして散華した人々に光をあて、この慰靈の行事を通して、殉難諸士の名譽回復に努力し、水戸藩の歴史の眞実を風化させることなく、未長く後世に伝えて参る所存であります。

幕末維新の激動期に、「事實」は、元治元年・諸生党建言書に表明された「志」と異なる結果となりましたが、重ねて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成27年9月27日

水戸殉難者恩光碑保存会 会長 川上有文

し、不慮の死を遂げ、屍を各地の山野にさらし、多くの有為の人材が散華されました事は、誠に痛恨の極みであり、残念であります。

本日、ここに、往事を偲び、改めて、各地に散華した人々に思いを致し、この先祖代々の地・水戸に於いて、鎮魂慰靈の誠を捧げるものであります。

又、本年は、殉難諸士にとつて、記念の年となりました事をご報告申し上げます。

私は、幕末騒乱に際し、不幸にして散華した人々に光をあて、この慰靈の行事を通して、殉難諸士の名譽回復に努力し、水戸藩の歴史の眞実を風化させることなく、未長く後世に伝えて参る所存であります。

嗚呼余亦戊辰の亂に遭ひ、矢石の間に間關する者、銘に臨んで、豈慄然の氣なからんや。

銘に曰く

何を以て主恩に報ぜん

唯だ一死有るのみ

死各其の所を異にするも

魂は同じく桑梓に帰す

いわんや藩祖の廟に近く

その志乃ち遂ぐ

地高くして松青く

豊碑千祀に傳ふ

水戸藩国事殉難者慰靈法要

水戸市教育委員会

歴史文化財課長

水戸殉難者恩光碑保存会

別称・水戸藩国事殉難志士を慰靈する会

日時

平成27年9月27日(日)

場所

祇園寺本堂内にて慰靈法要

の式典を行う(本日雨天)

恩光無邊の碑に献花・焼香

参拝も行う

次第

司会 岡見委員

第1部 (法要式典) 本堂内

開式 正午 司会(岡見委員)

1 読経 小原宜弘 住職

2 追悼の辞 川上有文 会長

3 追悼の辞 高橋 靖 水戸市長

4 焚香参拝 川上 会長

大森信男 副会長

前澤瑞穂 副会長

5 焚香参拝 (お名前を読み上げます)

来賓各位

水戸市長 高橋 靖様

参議院議員 岡田 広様元市長

水戸市議会 議長 村田進洋様

議員 高橋丈夫様元議長

水戸市教育委員会 教育長 本多清峰様

教育部長 中里誠志郎様

6 5 4 閉会 開式 1 2 3 2 1 6 5 4 懇談・相互交流

散会

追悼の辞

水戸市長 高橋 靖

白石嘉亮様

本日は、水戸藩国事殉難者慰靈法要が多くの皆様のご参集のもと、厳粛に開催されますことをお喜び申しあげます。幕末・維新期における殉難者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、幕末・維新期における水戸藩では、藩を2分する戦いにより、数多くの尊い命が失われ、明治維新以降も人々の間に様々なわだかまりを残すことになりました。

こうした中、水戸殉難者恩光碑保存会の川上会長をはじめ、関係者の皆様におかれましては、日頃より、幕末・維新期における水戸の先人たちの業績の顕彰に努められますがと共に、水戸のたどつた悲しく、痛ましい歴史上の出来事を伝承するため、会報「知恩」の発行はもとより、調査研究や普及啓発活動を精力的に展開されておりますことに、深く敬意を表する次第で御座います。

また、本年6月には、会津市の(会津史談会)の皆様が来水された際には、市内各地をご案内いたしました。

き、厚いもてなしをしていただい

たと伺つております。本市におきましても、これまで、恩光碑の修復への補助や、

長岡市寺泊(てらどまり)の名刹(めいさつ)法福寺(ほうふくじ)に葬られた佐藤(図書(ずしょ))の墓に、文化遺産説明板を設置しましたほか、神應寺(じんのうじ)に

ある諸生派慰靈碑(慷慨淋漓(こうがいりんり))の碑を市文化財に指定するなど、幕末・維新期の歴史の顕彰に取り組んでいるところでございます。今後とも、各地に現存する慰靈碑や資料の検証などを通じ、悲惨な戦いの中近代を迎えた郷土水戸の先人達を偲び、歴史上の事実を後世に伝えていく取組を、より一層推進してまいりたいと考えておりますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、

よろしく、お願ひ申し上げます。結びに水戸殉難者恩光碑保存会の皆様の今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたしまして、追悼の

会員及び

法要実行委員

川上有文

委員

平成27年9月27日
水戸藩国事殉難者慰靈法要
ご参列の皆様
祇園寺の本堂内にて

平成27年9月27日
懇親法要出席者は次
のとおり

祇園寺

住職 小原宜弘様
副住職 小原様

来賓の皆様

高橋 靖様 水戸市長
岡田 宏兼 三義完義

岡田 庄樹
參議院議員元水戸市議
村田 進洋様
水戸市議會議長

高橋丈夫様 水戸市議会議員

本多清峰様 水戸市教育長
中里誠志郎善水三市教齊部長

中里誠志郎水戸市歴史文化課長
白石嘉亮様 水戸市歴史文化財課長

川上 清様 水戸有志を懇意に会理事
市村真一様 茨城新聞社相談役

武藤秀明様 茨城新聞社編集部長

岡見京子
川上良子
塩澤友理
塩澤真未
塩澤涼太



水戸藩国事殉難者慰靈法要 参列記念
2015年（平成27年）9月27日

天狗追討に立ち向かう・戦う
 「薄井勢」「星勢」「寺門勢」
 「石井勢」の活躍が顕著である
 水戸藩内抗争は、武士階級だけ
 でなく、水戸領内全体に郷士、
 農民、神官、など庶民を含めた
 大争乱になつた

7 結果として、天狗勢は敗走、大
 子より、「天狗党」として体制立
 て直し京都に向かう
 西上行軍 敦賀で降伏する
 幕府の処断により攘滅

8 齊昭の姿勢、阿部老中に書翰
 にて天狗勢を賞賛し、門閥諸生
 派を悪しきまに書いている
 『新伊勢物語』に詳しく書いて
 ある 史料参照

9 両派の行動は、過激すぎた行動
 は否定できない 20数年対立
 してきたので憎しみの頂点に
 達していた そして、
 骨肉・争う凄惨な結果となつた
 元治元年 天狗党の乱 では
 諸生派が官軍であり天狗党は賊
 軍であった

・ 明治元年 勝者・天狗側が官軍
 で、敗者・諸生派は賊軍になつ
 た
 以後、諸生派子孫関係者は弾圧
 をうけ、悲惨な状況に遭つた

鈴木、朝比奈、市川、佐藤、大
 森の重臣家は一族全滅、幹部家
 族は水戸に居住不可能であつた
 離水する者多し、
 多くの諸生派の家族は水戸より
 離散した

10 勝利後の行動は、又 相手の

撮いは
 ・ 元治元年 勝者・諸生派の天狗
 残党刈り 家族の処刑など
 厳しすぎた 何故そこまでした
 のか

家族までの処刑は行き過ぎも甚
 だしい 武田家一族など
 ・ 明治元年 勝者・天狗側の諸生
 派残党狩り あまりにもひどす
 ぎる 多くの人材を処刑した

諸生派は全滅状態になつた
 城代家老鈴木石見守の幼い子供
 も処刑された、余り知られてい
 ない、

天狗党の弾圧激しく、多くの諸
 生派家族が犠牲になつた
 助かつた諸生派家族は 水戸に
 居ることは出来なかつた 各地
 に逃避した

1-1 明治新政府は(薩長藩閥政府)
 天狗たちを認め、諸生たちを旧

幕府側として否定した
 明治以後、天狗派「尊攘激派」

が政権を掌握し、諸生派の人々
 を徹底的に弾圧した
 ・ 茨城県の役人の大部分は天狗た
 ち、諸生派はわずかであつた
 水戸藩の為に尽力したのに賊軍
 として 否定された
 諸生派農民も同じ

・ 現在、靖国神社に天狗党として
 没した多くの人々が祀られてい
 る、茨城県護国神社にも祀られ
 ている

・ 国の為に殉難した諸生派の人々
 は一人もいない、明治政府・薩
 長藩閥政府の方針であつた
 諸生派遺族は追放状態にあり、
 家名も認められなかつた
 家名再興・復権を茨城県の天狗
 政権に申請したが認められず、
 栃木県令にも申請したがやはり
 ダメであつた
 明治22年憲法發布を以て、大赦、
 家名再興を許可され復権する

1-3 農村の実態は、
 ・ 未だ不明、史料の発掘により
 顕彰する必要がある
 しかし、残念ながら 諸生派に
 関する「史料」は殆ど無い状況
 にある
 諸生派農民については その実
 態が 全く 今も分からぬ状

況にある

天狗党の圧迫・弾圧に耐えかね
 て焼却処分されたか、又は 没
 収され焼却処分されたか残念で
 ある。今後の研究にお願いする
 以外にない。以上(文責川上)

★ 関連事項 元本会顧問

故来栖平造氏著書より
 明治元年、武田金次郎勢及び
 本圏寺党が京都を発し、5月
 水戸に到着すると直ちに諸生
 派に対し、暴虐極まりない追
 求と殺人を行つた。

このような殺戮の為、3才以
 上の男子をすべて殺されると
 の噂が広まり。鯉渕勢をはじめ
 諸生派に加担した農兵隊の
 者は領外へ落ち延びた者も多
 数あつた。その時の執拗な探
 索と過酷な処置は、現在迄土
 地の人々に語り伝えられてい
 る程であつたが為、やがて鯉
 渕勢への参加を口にする人々
 はなくなり、記録は意識的に
 忘れられた。鯉渕勢の実態が
 不明な理由の一つはこの事に
 ある。その外の農兵隊も同様
 である。

参加者募集

来年（平成28年度）の主行事として、次のように、予定しています。尚、詳細については、後日改めてご連絡致します。

日時 平成28年5月21日（土）
場所 千葉県匝瑳市八日市場
中台脱走塚 墓前慰靈式
参加者会費 五千円の予定
来賓

水戸市の方々

匝瑳市の方々

水戸藩士の史跡を顕彰する会
八日市場地元の方々

本会の会員 外
訪問先予定

水戸藩松山戦争匝瑳市関係史跡
八日市場図書館

福善寺 八日市場

大松庚申塚 八日市場

龍生院 八日市場

脱走塚 墓前慰靈式 举行

長泉寺 水戸浪士の墓
良福寺 千葉県銚子市
銚子市 魚市場

潮来 道の駅「買い物等」

◆これまでの慰靈の経過

明治2年戦死25人之墓 建立

地元有志

明治21年「十一回忌墓前法要

地元主催

大正15年水戸藩志士弔魂碑建立

地元有志

朝比奈知泉 撲文

昭和43年百回忌墓前法要

地元と水戸市主催

平成20年百四十回忌墓前法要

水戸殉難者恩光碑保存会主催

平成28年百四十八回忌墓前法要

本会主催予定

この松山戦争は、水戸藩諸生派の最期の戦いであり、明治元年10月6日この戦いで壊滅しました。

この地が、水戸藩諸生派終焉の地となり、以来、長期にわたり地元

の方々の手厚い供養により、今日に至っております。

匝瑳市八日市場における此の事は、一般には知られていない。

水戸でも知る人は非常に少ない。

水戸人として、多くの方々が、平成28年5月21日の慰靈の行事に参加し、地元の人々の心温まる

心情と長年の供養に、心から、感謝の意を表したいと思います。

★来年度の予定について

平成28年度は、匝瑳市八日市場の諸生派終焉の地を訪問、墓前に慰靈法要を行う予定です。

できれば、準備の関係にて予定だけでもご連絡頂ければ助かります。

ご一報頂いた方には、2月に募集の詳細を正式に通知します。

★編集後記

★朝・夕、かなり、冷え込んで来ました。向寒の折、皆様ご健康に留意されてお過ごし下さい。

★本年は、記念すべき年であったと思います。

2月 水戸市 神應寺所有の「慷慨淋漓の碑拓本附台石」が

水戸市指定文化財に指定されました。

5月 近世日本の教育遺産群として、弘道館など「日本遺産」に認定されました。

6月 「幕末維新时期水戸藩党派の抗争を巡つて」講演会を開催。

8月 会津史談会二行様が水戸歴史研修で来水。

9月 諸生殉難者の慰靈法要を挙行。

例年には充実した年でした。

★会報・知恩第18号

平成27年11月15日発行

水戸藩諸生派国事殉難者 慰靈供養の経過

2015年(平成27年)9月・記

水戸殉難者恩光碑保存会

- 1 1864年(元治元年)3月 尊皇攘夷激派・筑波山挙兵「天狗党の乱」
 - 2 1864年(元治元年)5月 弘道館諸生尊攘激派鎮圧のため決起し、「諸生党建言書」を水戸藩主・徳川慶篤公に上程する
諸生建言書 (水戸藩士、後の東京大学教授・内藤弥太夫・耻叟の起草)
 - 3 1865年(慶応元年)2月 水戸藩脱藩 天狗党浪士・西上勢「尊皇攘夷派激派」・敦賀にて壊滅
 - 4 1868年(明治元年)10月 水戸藩「諸生派市川勢」 八日市場の戦にて壊滅
千葉県匝瑳市八日市場中台の地が水戸藩諸生派(市川勢)終焉の地となる
 - 5 1884年(明治17年)慷慨淋漓の碑・建立 (拓本のみ現存) (水戸市、神応寺) (諸生派有志)
篆額・前会津藩主 松平容保公、撰文・東京大学教授 南摩綱紀先生
 - 6 1934年(昭和9年) 恩光無辺の碑・建立 茨城県水戸市八幡町11-69 祇園寺境内 (室田義文翁)
 - 7 1934年(昭和9年) 恩光無辺の碑・碑文 篆額・室田義文(天狗党)、撰文・朝比奈知泉(諸生派)
● 1934年(昭和9年) 水戸殉難志士恩光碑保存会を創立する (諸生派子孫)
 - 8 1935年(昭和10年)「恩光無辺碑」除幕式を挙行する (祇園寺)にて (除幕式)
(室田義文翁ほか、諸生派遺族 参列)
 - 9 1936年(昭和11年)9月23日 水戸藩国事殉難者慰靈祭を挙行する (祇園寺)にて (第1回慰靈祭)
水戸市 祇園寺 恩光無辺碑前において、田中光顯・前宮内大臣外、随員、と
県知事、水戸市長、水戸警察署長 参列、遺族が参列し 慰靈祭を挙行する
 - 10 2004年(平成16年)9月23日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (祇園寺)にて (慰靈祭を復活)
恩光無辺碑・建碑後70年を記念して慰靈祭実行委員会を組織し、70年の空白を埋め
終戦後、初めて法要を挙行する
 - 2006年(平成18年) 水戸殉難者恩光碑保存会を設立する (諸生派子孫、趣旨賛同者)
 - 11 2007年(平成19年)9月22日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (祇園寺) (本会主催第1回)
水戸市 祇園寺「恩光無辺碑」前において慰靈式を挙行する
 - 12 2008年(平成20年)10月6日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (八日市場) (本会主催第2回)
千葉県匝瑳市八日市場・水戸藩諸生派(戦死者25人之墓)墓前において法要を挙行
 - 13 2009年(平成21年)9月22日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (祇園寺) (本会主催第3回)
 - 14 2010年(平成22年)10月27日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (会津) (本会主催第4回)
会津若松市 白虎隊記念館前・(水戸藩諸生党鎮魂碑)前において慰靈式挙行
 - 15 2011年(平成23年)9月24日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (祇園寺) (本会主催第5回)
 - 16 2012年(平成24年)10月24日 水戸藩戊辰戦争戦没者慰靈祭を挙行する (新潟県) (共催 第6回)
新潟県柏崎市西山町灰爪669番地 (北越戊辰の役当所戦没者供養塔)・前において
幕末維新水戸有志を偲ぶ会と共催にて慰靈式を挙行
 - 17 2013年(平成25年)9月14日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行 (祇園寺) (本会主催第7回)
 - 18 2014年(平成26年)4月21日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行する (会津) (本会主催第8回)
会津若松市 白虎隊記念館前・(水戸藩諸生党鎮魂碑)前において慰靈式挙行
 - 19 2015年(平成27年)9月27日 水戸藩国事殉難者慰靈法要を挙行 (祇園寺) (本会主催第9回)
- そのほか
- 1869年(明治2年) 戦死25人之墓 建立 千葉県八日市場・諸生党壊滅の地 (地元有志)
 - 1888年(明治21年) 同上・21回忌 法要 八日市場・墓前法要 (地元主催)
 - 1968年(昭和43年) 同上・100回忌 法要 八日市場・墓前法要 (地元主催及び水戸市)
 - 1888年(明治21年) 戦死者供養塔 建立 栃木県片府田・宝寿院境内 (地元有志)
 - 1931年(昭和6年) 長岡原殉難者供養忠魂之碑 建立 水戸市、蓮乗寺境内に移転 (地元有志)
 - 1931年(昭和6年) 殉難者供養塔 建立 水戸市、赤沼獄舎跡 (地元有志)
 - 1989年(平成元年) 戊辰戦争当所戦没者供養塔 建立 新潟県柏崎市西山町 灰爪の丘 (地元有志と茨城有志)
 - 1994年(平成6年) 恩光無辺碑改整備 由来碑 建立 水戸市、祇園寺境内 (来栖平造氏と水戸有志))
 - 2000年(平成12年) 水戸藩諸生党鎮魂碑 建立 会津若松市白虎隊記念館前 (来栖平造氏と水戸有志))
 - 2012年(平成24年) 恩光無辺の碑・標石柱 建立 水戸市、祇園寺境内 (水戸市)
 - 2013年(平成25年) 佐藤図書守信近・顯彰碑 建立 新潟長岡市寺泊 法福寺墓所 (水戸市)

笠間支局

☎0296(72)0004 ファクス(73)0163

◇ 身近な情報をお寄せください

諸生派史跡、子孫と巡る



「慷慨淋漓の碑拓」を見学する会津史
談会の一行=水戸市元山町の神応寺

水戸で福島の研究団体

水戸存会（川上右文会長）と交流した。

福島県の郷土史研究団体・会津史談
会（坂内実会長）一行22人が20、21の

かりの土地探訪として、残り、文化財となつてある市内では常磐神社義理がたいなどと経緯を烈館や神心寺、祇園寺などと説明した。

元出町の神應寺（奥田は講道派を遵循する）は俊英（住職）では、今年2月、「光碑」の前で手を合わせて市指定文化財になった。

元・監修の社員（或田俊亮社員）では、今年2月に市指定文化財になつ

左光

碑の前で手を合わせる。

生派の人たちの死を悼み、十七回忌法要として建立。拓本は設置直前に取られたとみられ、精巧に写し取られている。だが、松平容保公が彼らの義に感じ入つて作成した碑文拓本を見て感動した」などと話していた。一行の探訪には、水戸殉難者恩光碑保存会会員

「慷慨激昂」の文字は今が講師役で付添った。津藩第の代藩王・松平容同会は2010年と昨年

僕の書いた「東京の文豪たち」の連載で、漢学者で東京大教授を務めた南齊綱紀が作成し、水戸藩の画家、松平雪江（俊雄）が書画した。交流を深めたい」と話した。上会長は「会津の人たちと共に戦い、同じ運命をたどった諸生派。今後も諸生派が徳川家の恩に報た。」（武陵秀明）いるために命をさしあげて戦つた気持ちを表現している。奥田住職は「碑石

四

武陵秀日



会津史談会

号	74	平成27年10月1日
第		
発行日		
発行所		
会員編集委員会	史内会津	会員編集委員会
人集編	人集編	人集編

「あいさつ」

会津史談会の文化史講座

副会長(研修担当)

井上昌威

されます。乞う期待。

平成二十六年度から会津史談会副会長を仰せ付かり、伝統ある研修部・文化史講座代表を務めさせて戴いて居ります井上昌威と申します。宜しくお願ひ申上げます。

会津史談会は歴史の郷会津若松市に、創立以来八十有余年の歴史を誇る、郷土史研究団体であります。歴代の諸先輩方が鋭意研究された、会津史の幅広い研究論文、また奥の深い文化史講座の史蹟探訪などは、機関誌「会津史談」や「史談通信」等に発表されて、後輩の私達は多くの知識を学ばせて戴いて来ました。

今年平成二十七年には「会津史談・第九十号」特集号が発刊

ます。近年、別会費の事情を存知無い方が増えましたので、参考まで。

文化史講座現地研修は、一泊研修を含めて年間五回開催します。

県立博物館で先生方の講演会や文化センターで理事会員の講演会を四回ほど計画して居ります。

今年度の一泊研修旅行では水戸藩諸生派の末裔の方達と交流

会をしました。郊外の感應寺では、明治十七年に実家に帰った

松平容保公が水戸藩諸生派十七回忌の巨大な道碑石碑「慷慨淋漓之碑」を揮毫した拓本を拝観し

ました。(こうがいりんりのひ、と読みます)現物は爆撃に会

い消滅したが、今年水戸市の文

化財になつたという、幅一間高

さ三間の大きな拓本に参観者一同は圧倒されました。

来年度の文化史講座は、一泊

の都合で行事を中止される事に

なり、会津史談会が全てをお引き受けして、会津史談会開催の年次行事として催している伝統

ある行事です。従つて運営経費は会津史談会とは別途会計とな

ります。富岡の本当の歴史を知らない常にゆかりがある、信州の富岡製糸所界隈を予定しています。

で、行つた人は詰まらないと云

いますが、この史実を知つたら

大概の人は感動しますよ。文化

史講座は伝統的に、永久保存が出来る資料を皆さんに配つてこ

ります。

また、旅行経費は実費となり木があるそうです。

乞う期待!

「慷慨淋漓」碑拓拝観 恩光碑保存会と交流会 会津と水戸の姉妹都市を!

水戸史蹟現地講座報告

平成二十七年度文化史第三回現地講座(詳細三面)

八月二十日(土)二十一日(日)一

泊二日実施。水戸市内会津ゆ

かりの地を探訪。神応寺、祇

園寺等拝観、参拝研修。

神応寺では、平成二十七年

二月、市指定文化財となつた

同寺所有の「慷慨淋漓」の碑

拓を拝観。この碑は幕末戊辰

戦争で会津藩と共に戦い、更

に弘道館の戦いで天狗党に敗

れた諸生党の人達の死を悼

み、明治十七年(一八八四)

十七回忌法要として建立され

た。拓本は設置直前に取られ

たとみられ精巧なもの。

「慷慨淋漓」の文字は会津藩

主松平容保公の書。碑文は会

津藩士の漢学者で東大教授

を務めた「南摩紀紀」氏が作

成され、水戸藩の画家「松平雪江」(俊雄氏)が清書。

諸生派が徳川

家の恩に報い、

るために命をささげて戦つ

ました。